

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	市川市あおぞらキッズ・市川市おひさまキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月17日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和7年12月17日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月17日		～ 令和8年1月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6施設	(回答数) 5施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員は、市川市あおぞらキッズ・おひさまキッズにおいて支援経験がある。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先施設に支援方法について提案する際には、あおぞらキッズやおひさまキッズで実際に支援で使用している教具、教材の実物や写真を持参し、具体的に説明している。 支援経験を活かし、利用者一人ひとりに応じた支援方法を提案している。 	訪問支援員が、外部研修等に積極的に参加し、訪問支援の質の向上を図る。
2	市川駅南公民館内に市川市子ども発達センターがある為、利用者への支援について情報共有を図ることができ、訪問支援に活かしやすい。	保護者の了承を得た上で、訪問支援員と発達センターの担当職員が利用者の発達についての情報を共有、検討し、訪問先施設での支援に活かすことができるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き連携を図っていく。 保護者の了承を得た上で、定期的に関係機関と情報共有を行っていく。
3	利用者からの相談に、速やかに対応するように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 訪問後に、観察時の利用者の様子を保護者に報告すると共に、家庭等での最近の様子を確認し、その都度相談に応じている。 モニタリング時以外にも、面談や電話での相談に応じ、次の訪問支援時に課題の改善に努めている。 	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの研修が実施されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が少なく、参加人数が少ない可能性が高い。 費用の確保が難しい。 	市川市子ども発達センターや市川市あおぞら・おひさまキッズ等で実施している研修を紹介する。
2	保育園、幼稚園、学校が、制度内容を知らない。	保育所等訪問支援についての周知が足りない。	訪問先施設が集まる場に出向き、制度について説明をする。
3	利用者が少ない。	保育所等訪問支援についての周知が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用する。 関係先へ周知の為にリーフレットを配布する。